

ホオジロガモ

Bucephala clangula (Linnaeus)

カモ目カモ科

石川県カテゴリー

準絶滅危惧

国カテゴリー

なし

選定理由

近年、減少傾向であり、落ち着いて生息できる環境が減少している。

形態

全長40～51cm。雄の冬羽は、頭部が緑光沢のある黒色。眼の下前方に大きな円形の白斑がある。首下の下面は白色で、背中央から尾は黒色。虹彩は黄色。雌は全体が濃褐色から褐色。嘴の先端に黄褐色の帯がある。雄のエクリプス羽は雌に似るが、頭部がより暗色。

国内分布

冬鳥として全国的に渡来するが、北日本に多い。

県内分布

冬鳥として七尾西湾に毎年約50羽あまりが渡来する。河北潟など加賀の海岸、湖沼でも観察されるが、稀である。

生態

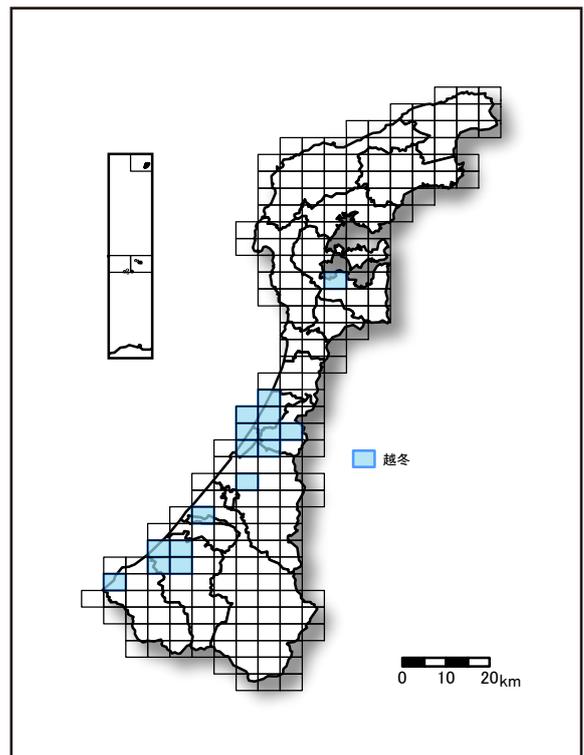
主に入り江、内湾、干潟などの海岸部で過ごす。潜って採食するのがよく見られる。動物食で、昆虫類、甲殻類、軟体動物などを食べ、時には水生植物も食べる。

生息地の条件

人が近づかず、甲殻類などの餌が豊富で波静かな内湾。

生存の危機

ハンターによる間接的な狩猟圧。(A)



県内の分布